

西田恵美さんへの

インタビュー

- 職業：市民センター非常勤職員
- 家族構成：夫・子どもあり
- 移住歴：2年
- お気に入りスポット
ベルファーム



「山、川、海のある自然環境の豊かな地域。風が強くて最初は驚きましたが、住みやすく子育てのし易い場所で、夏に見れる嬉野の蛍には感動しました。外出する際には車が必須なので、マイカーを持っているとより満喫できると思います」と話すのは、広島より移住した西田さんだ。

— 移住のきっかけは何ですか？

主人の会社が津に新工場を建設したので、それに伴う転勤です。松阪のイメージは松阪牛ぐらいしか知らなかったのですが知り合いもない当初は不安でしたが、直ぐに解消しました。ご近所さんに面倒見が良い人が多いということもあり、すぐに仲良くなれたためです。「地元の料理を教えてくださいるので料理のレパートリーが増えました。ちなみに地元料理で一番好きなのは、ハゼの昆布巻です。

家探しについては、会社で契約している不動産業者に今の住まいを紹介



『通訳が欲しい方言がいっぱいで面白い』

してもらいました。公園や保育園など色々探してくれたので、安心できました。

— 移住して気付いたことは何かありますか？

車が必須であることは移住前にも予想していたが、運転が荒い人がいるのでそれには驚きました。あと、方言が面白く、(机をつる、(ごみを)ほる、さきって(三日後のこと)、かんぴんたん(干からびたもの)などの言葉には衝撃を受けました。

— 松阪に来て地元の人との交流はありますか？

引っ越し早々、親切な地元の農家さんが勤務先に野菜を持って来てくださったたり、畑で農業体験をさせていただいたりしました。

体調が悪い時も、「あそこの病院がいいぞ」と教えてくださり、すぐく助かりました。今は、地元の方に教えていただいた漬物作りを日々研究しながら楽しんでいきます。

